

令和9年4月 保育所などへの新規入所申込を受け付けます

入所要件 保護者（原則父母）が次のいずれかに該当している場合、保育所などに入所できます。

- ① 月48時間以上の就労（夜間勤務・自営業・内勤を含む）
- ② 出産の前後（出産予定日8週前の月初日～出産後8週の月末）
- ③ 病気・負傷・心身に障がいがある
- ④ 親族を常時介護または看護している
- ⑤ 求職活動（入園後2か月以内の就労が必要）
- ⑥ 月48時間以上の就学（職業訓練校への通学を含む） など

募集期間 11月2日(月)～11月30日(月) 8時30分～17時15分（土日祝日を除く）
申し込み 必要書類に記入の上、市こども家庭センターに提出してください。
申請書などは、市こども家庭センターや各募集施設で配布している他、市のホームページからダウンロードできます。

募集施設 年齢別の募集人数は、市ホームページを確認してください。



市ホームページ

施設区分	施設名	受入可能年(月) 齢	所在地
認可 保 育 所	中妻子供の家保育園	生後2カ月～就学前	中妻町1-13-22
	小佐野保育園	生後2カ月～就学前	小佐野町3-4-10
	鶴住居保育園	生後2カ月～就学前	鶴住居町3-10
	ピッコロ子ども倶楽部桜木園	生後2カ月～就学前	桜木町1-5-18
認定 こども園 (保育部分)	かまいしこども園	生後3カ月～就学前	天神町5-13
	甲東こども園	生後3カ月～就学前	野田町4-6-8
	正福寺幼稚園	3歳～就学前	甲子町10-8-4
	平田こども園	生後2カ月～就学前	大字平田4-10-2
	神愛こども園	生後2カ月～就学前	上中島町4-2-20
	市立上中島こども園	生後8週～就学前	上中島町3-5-17
小規模保育 事業所	スクルドエンジェル保育園かまいし園	生後3カ月～2歳児	甲子町9-12-1
	虹の家	生後2カ月～2歳児	中妻町1-16-10
	きらきら保育園	生後3カ月～2歳児	定内町2-11-15

保 育 料 3～5歳児クラスと0～2歳児クラスの非課税世帯、第2子以降の保育料は無料です。この他の世帯は、保護者の市民税所得割額（4～8月は前年度分、9月以降は当年度分）の合計に応じて決定します。ただし、教材費や給食費などは実費分を園で徴収します。

そ の 他 12月入所は11月13日(金)、令和9年1月入所は12月15日(火)、2月・3月入所は令和9年1月8日(金)が締め切りです。

問い合わせ 市こども家庭センター子育て支援担当 ☎52-0094

令和9年度福祉のまちづくり支援事業を募集します

地域の福祉向上を目的に活動する県内のボランティア・NPO団体、自治会などを支援するため、助成事業を募集します。

申請期間 12月11日(金)

助成対象 地域の福祉活動に直接使用する機器・用具、備品の購入経費

助 成 額 1万円～20万円（千円単位）

申し込み 申請書を釜石市社会福祉協議会に提出してください。

※実施要領・申請書は、ホームページからダウンロードできます



問い合わせ (福)岩手県共同募金会 ☎019-637-8889

教 育 広 報

かまいし絆会議とは

かまいし絆会議は、市内全ての小・中学生で構成される組織です。各学校の代表児童生徒による本会議を年2回開催し、自分たちの学校や地域をよりよくするために何ができるかを話し合い、活動しています。また、こうした活動を通して、一人一人が将来の釜石を担うリーダーとして成長することを目指しています。

子どもたちが提案する「防災家族会議の日」

8月に開催された本会議では、東日本大震災から15年の節目を見据え、「防災」をテーマに話し合いを行いました。代表児童生徒は、震災の教訓を振り返りながら、「自分たちにできることは何か」を真剣に考えました。

話し合いでは、「防災についてしっかり学び、災害が起きた時に自分の命を守れるようにしたい」「いざという時、自分で判断し行動できるようになりたい」といった意見が出されました。また、「学校では防災について学ぶ機会が多い一方で、家庭や地域では防災について話し合う機会が少ないのではないか」という課題も挙げられました。

そこで子どもたちは、防災意識を高めるための取組として、「防災家族会議の日」を設けることを提案しました。家庭で避難場所や備蓄品を確認したり、防災について話し合ったりする機会をつくることで、家族全体の防災意識向上につなげようというものです。今後は、中学生で構成する専門部会を中心に、これらのアイデアの実現に向けた検討を進めていきます。

子どもたちの発想から生まれた「防災家族会議の日」。家族で防災について話し合う時間が、日頃の備えを見直し、地域の防災力を高めるきっかけになることが期待されます。



大槌町林野火災災害への義援金活動

かまいし絆会議では、大槌町林野火災災害への義援金活動にも取り組みました。この活動は、「すぐ隣の大槌町のために何かしたい」「自分たちにもできることがあるはず」という子どもたちの思いから始まったものです。

各学校では募金活動を行い、学校行事の際には保護者の皆さんにも協力を呼びかけるなど、学校ごとに工夫しながら取り組みました。その結果、総額238,236円の義援金が集まりました。集まった義援金は、絆会議の会長と副会長が代表して大槌町役場を訪問し、平野町長へ直接手渡しました。

学校や家庭から寄せられた善意は、大きな支援の輪となって大槌町へ届けられました。今回の取組は、子どもたちにとって人と人とのつながりの大切さや、支え合う心の尊さを改めて感じる機会となりました。

